



上越市議会議員
宮崎朋子
議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

- ◆9月議会 ～ 令和4年度決算のトピックスとそこから見えた今後の課題～
- ◆宮崎ともこの一般質問 ～ どうなる？これからの道路整備～
- ◆地域の情報 ～ 湧水対策／様々な防火対策／謙信のイズムを繋ぐ～
- ◆議員活動奮闘記 ～ 一枚岩ってどんな岩？～

Vol,14

発行月 2023年11月

所属

- 会派 創風
- 総務常任委員会
- 災害対策特別委員会委員長
- 議会運営委員会
- 防災士議員連盟
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

大事な市政をしっかりと
チェックします！

市内の災害、
減災対策に
奔走します！

市民のために
変わる、進む
市議会運営に
つとめます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「ゴールド」
豊かさ、目標を象徴する色。

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」配信中です！

パソコン、携帯、スマホ
からは非ご覧ください。



YouTube B面ともこ



宮崎朋子
議員活動
奮闘記

～ 一枚岩ってどんな岩？ ～

議員連盟で取り組んだ、新井柿崎線の要望活動。そして10月には「三和区道路並びに河川関係期成同盟会合同要望会」が実施され、ここでは将来を見据えた前向きな回答もいただくことができました。あらためて、地域のみならずと行政、そして私たち議員などが一枚岩になってこそその結果だと痛感しています。議員一人一人は1個の石かもしれないけれど、市民のために「一枚岩」になることにこそ、その存在意義があると感じた秋でした。



活動記録 (7/1～10/15)

- 市内行事（上越まつり／三和まつり／三和体育祭／三和区敬老会／上越市総合防災訓練他）
- 市内団体参加（新潟県地すべり防止工事会上越支部／三和区道路並びに河川関係期成同盟会合同要望会／防災士会女性部他）
- 上越商工会議所女性会と女性議員との意見交換会
- 市民要望の調査、立会等道路整備・農業・福祉・観光・自治・公共交通・地域医療等）
- 調査研究（企業における法令遵守について研修会傍聴／三和区内交通安全対策／上越市の子育て事情等）
- 上越地域消防議会定例会（令和4年度決算）
- 議員連盟（県道新井柿崎線要望活動）
- 所管事務調査（住民自治・地域自治・地域協議会制度／第2次上越市総合公共交通計画後期再編計画の策定／上越市過疎地域持続的発展計画変更案／地方創生の取組）
- 個人議会報告会（2ヶ所）● 議会通信発刊（7月）
- 視察研修（石川県河北潟放水路／墨田区未来都市及び自治体のDIXモデル／株式会社こうし未来研究所の取組／玉名市3D都市モデル／北九州市DXの推進／議員定数と報酬／中津川市の小水力発電）
- 全員協議会（リフレ上越山里振興株式会社について）
- 議会運営委員会（4回）● 議会運営委員会WG会議（通年議会について・オンライン議会について）
- 地域協議会傍聴（板倉区／三郷区）
- 本会議（9月4日・9月7日）● 一般質問（9月21日）
- 常任委員会傍聴 ● 総務常任委員会（9月14日・15日）



VRで水害の危機管理を学びました。



毎年浴衣で参加！（三和まつり）

●12月議会の予定
12月1日（金）～12月15日（金）
議会傍聴は是非お越しください！

地域の情報

◆猛暑と湧水対策。急がれる、今年と来年度以降の農業支援

この夏の猛暑と湧水は水稲はじめ、園芸や畜産にも多大な影響がありました。市では、7月よりパトロールを重ね対策本部を立ち上げるなど、その情報把握と現場の声の収集につとめてきました。10月2日からは関係各所と連携し緊急金融支援を行なっています。（令和6年3月29日までの貸付実行案件を対象とする）議会では次年度へ向けた復旧対策と継続的な支援を市に要望しました。



5年前の湧水被害の教訓をもとに各地で対策がとられました。

◆様々な防火対策

上越市総合防災訓練が中郷区で行われました。今回は、化学工場火災対応訓練や負傷者救助訓練、住宅火災防ぎょ訓練をはじめとする様々な訓練がありました。中でもドローンによる情報伝達は必須。また、消防や自衛隊、赤十字など多くの人の手に私たちが支えられていることを実感できた訓練でした。



水幕で延焼を防ぐ消防ホース。

◆謙信公のイズムを繋ぐ

戦国時代、春日山城の支城は重要な場所でありました。通年観光を考える時、市内各地のこの場所を守ってきた地域住民がいることを忘れてはならないと思います。担い手と語り部がいてこそ繋がる謙信公の精神。今こそ、そのイズムに市はもっと目を向けるべきと考えます。



市指定文化財 大間城跡（三和区）

■9月決算（令和4年度一般会計）	歳入	111,590,070,000円
	歳出	105,596,280,000円
	差引	5,993,790,000円

ここから令和5年度へ繰り越した2億9590万円と財政調整基金の取り崩し等を加味し、実質令和4年度収支は、マイナス1億7046万円となりました。財政指標（自治体の通知表のようなもの）では将来負担比率も低下し、堅実な財政運営であったと言えます。
*しかしながら、人口減少などの課題がある中、積極的な財政出動ができていく状況には変わりありません。引き続きの事業審査、政策推進に注力してまいります。

令和4年度決算トピックス

- 福祉** *住民非課税世帯等に対する支援。（原油価格・物価高騰・電気・ガス・食料品・灯油購入費など） 約13億5000万円
- 子育て** *市内11ヶ所の地域包括支援センターが相談窓口として定着し、関係各所と連携しながら必要な支援に繋がられた。（相談件数は約2万件）
*出産・子育て応援ギフトの制度で、妊婦や子育て世帯の経済的支援や相談に繋がった。（約1億2500万/2390人に支給）
- 環境** *不法投棄の未然防止対策で、その量は18tに減少した。（2年前は26t）
- 教育** *上越市の「地域の宝」は118件になり、今後はその周知が期待される。
- 産業** *企業の設備投資支援は順調で、それによる新規雇用も増えた。
*エネルギー価格等高騰支援事業。（約6億5000万/5456件）
- 総合** *ふるさと納税は、5916件で総額は約1億700万円となった。人気は米や酒類。
*上越妙高駅周辺地区商業地域における土地利用が進んだ。（シェアオフィスなどが開業）
*移住定住者は188組361人と増加。そのうち4割は県外からの移住。年代別では30代が6割と徐々に成果があらわれている。加えて、全国からの相談件数は493件と増加した。（令和2年度は82件）



（抜粋）

◆令和5年度上越市一般会計補正予算（抜粋）

三和区小学校統合事業 令和7年度春からの統合先となる小学校のトイレや体育館などの改修に係る実施設計のための経費（10,868,000円）

決算から見た今後の課題

人口減少の影響が、ひたひたと近づいていると感じた決算でした。まずは、向こう10年を見据えた確実な政策が必要と考えます。

- 老人クラブ活動の今** 老人クラブ連合会加盟数は年々減少し、令和4年度は224に。高齢者の生活や考え方の変化にどう対応していくかが課題です。
- 高齢者外出支援の今後** 毎年75歳以上のひとり暮らし高齢者等に、年額9000円のタクシーや路線バス利用券が交付されていますが、その利用率は70,3%。本当に必要な人への手厚い支援の検討を望みます。
- ごみヘルパーさんの需要** ごみの分別や集積所へのごみ出しが困難な高齢者を支援する、ごみヘルパー事業。誰もが直面する課題です。
- 放課後児童クラブの未来** 通年登録者数は1778人。家族構成や働き方の変化、ICT化などに対応したあり方の検討も必要になってきました。

宮崎ともこの一般質問（抜粋）



何年振りかでマスクを外しての登壇。だいぶ険しい顔をしています（笑）

この度は、議員になって4年間、地域や市民の皆様のお声をもとに、汗をかきかき取り組んできた地域の「道路整備事業」について質問いたしました。
当市はこの十年で約2万人が減少しました。過疎化が進めば目が行き届かなくなるのではないかと、また、高齢化で地域要望はどうなっていくのか？
加えて、雪国ならではの交通障害の不安もあります。
地方におけるインフラ整備はまさに生活の基盤。
これまでも、これからも恒久的に守られるべきと考えます。

質問1

上越市は県下で2番目に広い。今後人口減少が進む中、道路維持は大丈夫か？

A、道路パトロールなどは市職員と事業者で行っている。近年は郵便配達職員による道路不具合の通報や、市民からのライン通報もあり、その効果は大きい。

質問2

次期道路整備計画の策定にあたっては、道路整備評価項目（特に車両や歩行者の通行頻度、中学校の通学路の条件など）に影響が出るのではないかと？

A、これまでも過去3回の策定時には、その検討や見直しを行ってきた。通行量がひとつの判断基準になることは変わらないが、地域の実情に応じてしっかりと見ていきたい。

質問3

未だ実施に至らず年数が経過している地域要望に関しては、その目的や周辺環境を今以上に丁寧に聞き取り、様々な方策の提案を望むがどうか？

A、これまでも様々な策で解決できた事例もある。次期整備計画策定にあたっては、再度地域の現状や課題をお聞きしていきたい。

質問4

今後、官民協働で自分達の道を守っていく必要があると考える。例えば地域独自の予算の活用などは考えられないか？

A、道路の外側線の引き直しは8年に1回、草刈りは年2回。地域独自の予算では難しいが、そういったご相談があれば問い合わせしてほしい。

質問5

冬期道路において、ホワイトアウトや吹き溜まりで孤立する集落もあると聞く。市ではどう把握し対応しているか？

A、市全体で150路線、約150kmあることを把握している。地吹雪対策については防雪柵やスノーシエルト、矢羽根などの視線誘導施設の設定などがあるが、抜本的な防止策は今のところ無い。引き続き情報収集と迅速な除雪を行っていく。

Q、孤立集落に対しては、迂回路の相談や応急的な被害軽減対策を提案してほしい。また、冬期除雪計画にあたっては、こうした視点も必要と考えるがどうか？

A、不安に思う住民がおられる以上、これはまさに雪害と言える。今一歩踏み込んだ取り組みを検討していきたい。

宮崎ともこの総務委員会での質問

地域振興事業の補助率の基準や事業成果は？

A Q 補助率は決まっているわけではないが、事業成果明記は検討していきたい。

近年増える特殊詐欺被害の未然防止事例も多

A Q く聞く。どんな対策をしている？

A 警官が定期的にコンビニ巡回するなど、官民

あわせて未然防止に取り組んでいる。

A Q 一部の公の施設では過去に活用した補助金の

処分制限に係る手続きなどで、その利活用の

検討に課題が生じたところがあるが要因は何か？

A Q 適正配置計画後も関係省庁に確認をするが、

管轄によっては時間がかかる場合があった。

A Q 今後は、より情報収集などにつとめていく。

A Q 資材、物価高騰などの課題がある中で、契約

以降の価格転嫁にはどう対応？

A Q 条件に該当する場合は、単品スライド条項等

により対応している。これまでに5件対応した。